

全国的に書店の閉店が続いています。新宿駅周辺では2015年2月に小田急百貨店10階の新宿三省堂が47年間の長い歴史を閉じたのに続き、2016年3月には同じく三省堂都庁店が閉店。また、6月にはアイランドタワーの末広堂書店（約100坪）が閉店し、その跡にはセブンイレブンが、7月には新宿タカシマヤタイムズスクエア南館の紀伊國屋書店が洋書フロアを残して撤退し、跡地（900坪）には家具のニトリが出店しました。

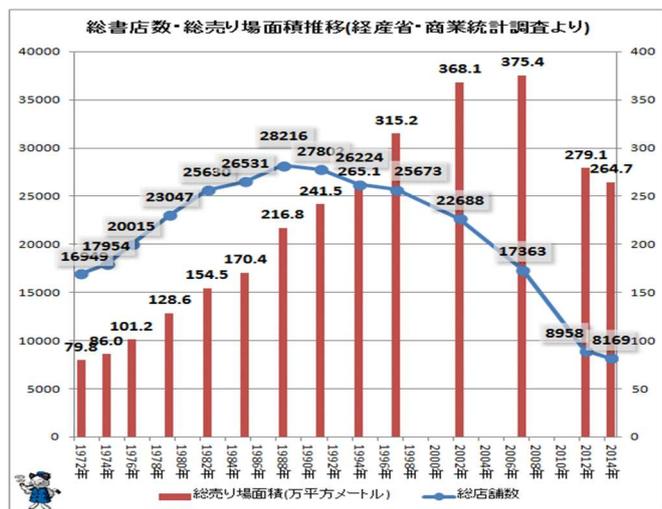
今年3月には京王モール・アネックスの啓文堂書店が閉店し、その跡には100円ショップのダイソーが出店しました。

書店の撤退は電子書籍やアマゾン等の通販の普及による売上不振と賃料負担が原因ではないかと思われます。

一方、池袋では今年5月にサンシャインシティから新栄堂書店が撤退しましたが、跡地（110坪）にはくまざわ書店が入りました。新栄堂は7月に南池袋に路面店（11坪）を開店しました。サンシャインでは38年間、営業しましたが「売上が最盛期の半分近くに減少していた」そうです。

渋谷では6月に第一勧銀ビル地下の中規模書店、ブックファースト（200坪）が閉店。雑貨が主体のヴィレッジヴァンガードに替わりました。

右のグラフは、棒グラフが総売場面積、折れ線が総店舗数の推移です。（経産省・商業統計調査より）



☆山・旅・諸々 ☆  
10月中旬、古代史の勉強会グループで宮崎・大分へ出かけた。宮崎空港から日本最大の古墳群「西都原（さいとばる）古墳」、天孫降臨の地・高千穂、滝廉太郎作曲「荒城の月」のモデル・竹田の岡城址、日本三大八幡宮の一つ・宇佐八幡宮、国東半島の臼杵石仏や熊野磨崖仏等を見学する2泊3日の旅だ。

西都原古墳群は、標高60~80mの高台に約11平方キロにわたり311基の古墳が現存している。最大の物は男狭穂塚（おさほづか）と女狭穂塚（めさほづか）だが、一説によると、ここが邪馬台国ではないか、と言われている。卑弥呼は天照大神とも・・・。



臼杵石仏